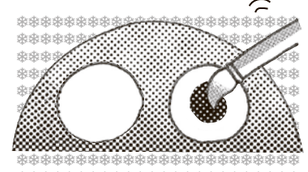
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2023 4

受験を成功に導く、正しい追い込み学習！

協力・麻布個人指導会

10月も終わりに近づき、受験まで残すところ数か月少々となってきました。6年生は夏休み明けから始まった志望校の過去問演習、模試の結果から見えた弱点補強の勉強に拍車がかかってきた頃だと思います。

「受験直前期までにおこなうべき追い込み学習」。今回はこのテーマについて麻布個人指導会のベテラン講師2名から受験生にアドバイスを送ります。受験本番まで時間は十分に残されています。憧れの志望校合格をつかむため、今後の受験勉強において大いに参考にしてください。

和光（わこう） 信（まこと） 講師

進学塾での経験を活かし、中学受験専門の家庭教師として活躍中。例年厳しい状況にあるお子さんも担当し、これまで数々の劇的な逆転合格を演出している。その手腕と頼りがいのある雰囲気でご父母から高い評価を得ている。

最近の合格実績

麻布、雙葉、慶応中等部、早稲田高等学院、早稲田、海城、浅野、豊島岡女子、明大明治、学習院、本郷、城北、横浜共立、横浜雙葉、洗足学園、香蘭、高輪など。

算数　実力をフルに発揮するために常に心がけるポイント

●全問正解は不要、取れる問題を確実に

今の時期、第1～3志望くらいの学校の過去問を解き進めているのが理想のペースです。ただ、実力はこれからも伸びるもの、点数が取れなくてもさほど気にする必要はありません。志望校の過去問と向き合い、現在の自分の実力を見極めることが重要です。これまで塾の先生から「計算問題と小問集合は全部できて当たり前」と言われたことがあるかもしれません。ですが最近の入試では小問集合の中にとんでもなく手間のかかる問題が出題されたり、逆に後ろの方の大問が簡単だったりするものがあります。一回深呼吸して、できる問題から取り組む習慣をつけましょう。

●「まだ1分もある」と前向きに考えよう

模擬試験や過去問の演習中、普段の勉強でも受験生は焦りを感じて早く問題を解きがちになります。特に残り時間がわずかな場合、どうしても暗算に頼りがちになります。そんな時こそ意識的に図や式をしっかり書く、十分な余白に筆算式を書いて計算するようにしてミスを防ぎましょう。1分と聞くとあっという間に過ぎ去ってしまうと思いますが、頭の中では意外に多くのことを考えられます。1問解き切るには十分な時間です。「1問でも多く正解する、自分の限界まで点数を取る」という姿勢を受験が終わるまで持ち続けてください。

●家での勉強にもメリハリを欠かさずに

受験生のいるご家庭からよく「効率的に勉強させたいが、どのように進めていったらよいのか」という質問を受けます。学校に行くまでの朝の時間、塾から帰って来て寝るまでの時間を有効に使いたいところですが、例えば「65ページから67ページまで終わらせよう」と問題の量で切るのではなく、「10:20から11:00までがんばろう」と時間で切ることを私はお勧めしています。量で切るとついつい時間が延びてしまうことになり、他の教科とのバランスが崩れたり、夜遅くなってしまって睡眠時間が削られてしまったりしがちです。「時間内にできたところまでで終わりにしよう」と割り切る方がかえってメリハリがつきます。

理科　手と頭を動かして取り組む、それが合格への近道

●化学反応は比例の関係で解く

理科は算数と比較して各学校の出題傾向が把握しやすい科目です。過去問を解き進めてグラフを書かせる問題が出やすい、中和反応の問題が毎年出るなどだいたいの傾向をつかんでおきましょう。酸とアルカリの中和は頻出問題ですが、反応する比率で考えるのが必須です。問題に登場する数値に気をつけ、完全に反応しきれているのか、それとも余りが生じているのか注意してください。理科の入試問題を集めた問題集を駆使して、似た問題があれば受験予定のない学校のものでも積極的に演習することをおすすめします。

●イメージしにくいものは図を書いて

生物と地学は比較的暗記要素の強い分野だと認識されています。生物はさほど感じませんが地学を苦手にしているお子さんは少なくない印象です。地学は暗記だけで片付けようとするのではなく、理論的に考えることで正しい知識が身につくケースがあります。月の満ち欠けや南中時刻など苦手にしている受験生も多く見られますが、太陽・地球・月の位置関係を図で書いてみるとあっさり解答できることが多いです。手を動かすことを面倒がらず取り組んでほしいと思います。

●時事問題にも理屈を考えて取り組む

そろそろ時事問題に取り組む時期です。今年は月食や日食、気候変動（地球温暖化や線状降水帯）など入試で狙われそうなテーマがいくつもあります。時事問題のテキストでしっかりと勉強を進めておきましょう。これに関してもただ重要語句を暗記するだけで済ませず、理屈で考えるようにしましょう。例えば、「水は温度が高いほど気体が溶け込みにくいので、二酸化炭素が空気中に残り温暖化がさらに進む」など考えると理解が深まります。社会の時事問題でも問われているのは理科の内容、というものも多くあります。気候変動の理解を深めることは2科目の勉強につながり、一石二鳥です。しっかり取り組んでおきましょう。

今年は関東大震災の発生から100年を迎えています。個人として、一方で国としてどのように防災に取り組んでいくべきか考えておきましょう。作問者にとっては記述問題に出題しやすい分野です。また、今年は1973年に起こった第1次石油危機から50年でもあります。環境・エネルギー問題とも絡めやすいテーマですので、これも要注意です。石油危機が起こった原因など、さらに掘り下げて勉強するようにしましょう。必ず受験に役立ちます。

原（はら） 静香（しずか） 講師

中学受験文系教科指導の専門家で、明るい人柄で人気の講師。生徒の適性を見抜き着実に成績を引き上げる指導技術は本物。毎年国語嫌いの受験生を指導して第一志望合格へと導いている。

最近の合格実績

女子学院、雙葉、駒場東邦、早稲田実業、早稲田、海城、豊島岡女子、桐朋、巣鴨、芝、暁星、学習院、吉祥女子、鶴友学園、白百合学園、学習院女子、青山学院、頌栄など。

国語　今の時期に必要なのは基本へ回帰と勉強の工夫

●解答に十分な時間を割くように意識

6年生は志望校の過去問演習も進んでいることと思います。点数も気になるところですが、設問を全て解ききれているかをチェックしましょう。空欄がある（＝時間が足りていない）状況は改善しないといけません。目安ですが、問題文を読むのに使う時間と解答を作成する時間の比率を1：2になるように時間配分しましょう。

次に出題の傾向ですが、男子校で女性が主人公の物語文が出題される（逆に女子校で男性が主人公の物語が出題される）ケースが最近目立ちます。異性の心情把握に関しては慣れが必要です。塾のテキストや受験予定ではない学校の過去問を使ってもかまわないので、意識的に問題演習するのも効果的です。

●読解問題に対する基本テクと裏技

次は長文のジャンルに分けて勉強のポイントを挙げていきます。まず説明文については重要箇所（特にテーマと筆者の考え）に線を引くなどしっかりマーキングすることです。「～とは」「～ではないか」といった表現は見逃さないでください。また、接続語「つまり」も要チェックです。筆者の考えは別の言葉に言いかえられて何度も文中に登場することも少なくありません。

物語文についてですが、学校によっては明治・大正時代から戦前が舞台になっている文学作品が出題されることもあります。現代の感覚とずれてしまい焦ってしまう受験生もいます。裏技になりますが、有名文学作品のあらすじをまとめた本が市販されていますので、どんな作品なのかの概要を頭に入れておくと安心できます。

●韻文の勉強も抜かりなく取り組む

学校によって出題の有無がはっきりと分かれるのが随筆分と韻文です。随筆分は基本的に物語文と同じように人物の心の動きに着目していきましょう。詩などの韻文は出題校が限られますが、得点源にしたいところです。塾のテキストでは韻文を扱う回数が少なく、解き慣れていない状況で入試に臨むお子さんも多く、4年生や5年生のテキストを見返し、「体言止め」や「反復法」など修辞法の効果、俳句の季語などに関しては定着させてから入試を迎えたいものです。

最後に、知識は入試まで固め続けておきましょう。文章題に取り組んでいる最中も意味をつかみきれない言葉が出てきたら印をつけて後で意味調べをおこないます。「コンセプト」や「アイデンティティー」など、説明文で登場するような外来語も要注意です。

社会　知識の暗記で終わらせず、考える習慣をつける

●出来事と原因をセットで理解する

最近グラフなどのデータを読み取って記述させる問題も上位校の入試で増えてきました。例えば海外への米の輸出量推移のグラフでも「1年単位で急激な変動があるのか」「長い目で見て増減があるのか」と細かな視点、広い視点それぞれで特徴を考える習慣をつけましょう。原因として「冷夏で日照不足だったから」「食の洋風化が進み、米の消費量が徐々に減っているから」と挙げられますが、原因と結果が頭の中でつながっていれば記述問題も心配ありません。絶えず「なぜ」と考えることが必要です。

●初見の知識に出会ってもあわてない

次に知識の定着方法についてお話します。塾のテキスト以外に市販の参考書を何冊も使っている受験生を見かけますが、私はあまりおすすめしません。全ての中学校の入試で問われる用語がもれなく載っているテキストはないからです。用語集を何冊も入手すれば知識量は間違いなく増えますが、その分時間も取られます。これまで勉強してきたテキストを信じて勉強を進めていきましょう。

過去問をやって初めて聞いた言葉もあると思います。その時に新しい知識として吸収すれば良いのです。忘れないためにも暗記用のノートを1冊準備して整理しましょう。

●時事は周年の出来事も要チェック

最後に時事問題についてですが、今年の出来事はもちろん、今年でちょうど○○年、という周年にも注意が必要です。

教務の現場から⑥

●秋の夜、コンビニ前にて

私が仕事帰りに立ち寄るコンビニは某塾の目と鼻の先で、夜通りかかると店の前に生徒が集まっていることがあります。お迎え待ちでしょうか、小学生がフライドチキンやら飲み物やらを手に嬉々として色々話しているのです。成績のこと、志望校のこと、親に叱られたこと……。（良いことを口にしている生徒は一人もいない。）

9月のある夜、今度はそのコンビニの前に母親たちが何人か集まって話をしていました。我が子の成績のこと、志望校のこと、塾に迎えに出てくれない父親への愚痴……。子どもたちは居残り勉強をしているのか、なかなか教室から出てきません。

不思議なことに子どもも母親もストレスを発散するかのように友達とけらけら笑いながら話をしているのです。受験が近づく中でピリピリする家庭が多くなりますが、この光景を目にして少しほっこりしました。　教務　奥野

学生は一切派遣していません

創立37年　中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

小6受験生へ　追い込みの勉強にお役立て下さい

◆ 冬休み直前 志望校対策コース ◆

【日程】入試までの期間中、ご希望の日時・回数と教科で受講いただけます。
【内容】直前の指導で結果を出してきた専門家庭教師による志望校対策です。
【費用】本コースに入会金（33,000円）は必要ありません。

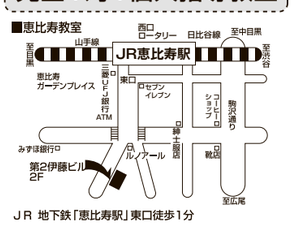
コース	6時間	10時間	14時間	20時間
指導料	54,450円	87,450円	119,350円	163,900円

※冬休み前からや年末年始の期間の受講もできます。また、オンラインでの受講も可能です。
※上記の指導料は税込です。別途、講師の交通費がかかりますが、その他の費用はありません。
※回数と時間数は上記以外でも可能です。講師を選ぶ際、おおよその時間数のご希望をお聞きいたします。
※本コースに体験授業はありませんが、教務が責任を持って適任の講師を人選いたします。
※初回の授業終了後、予定回数分の指導料をご請求いたします。未消化の分はご返金いたします。

これまで7,000名を超える受験生の合格、支え続けてきた実績、お役立て下さい。

「成績を伸ばしたい、志望校に合格させたい」。このような家庭の要望に当会は創立以来、中学受験の〝専門家庭教師〟のみを派遣してお応えしてきました。中学受験のサポートは、ぜひ当会にお任せ下さい。

完全1対1個人指導教室



5年生・4年生へ　新年度2月からの予約も受付中です

◆ 通常コースのご案内 ◆

◎指導料は月ごとの完全な後払いです
●入会金　33,000円（税込）　一家庭無期限有効（兄弟姉妹の方は必要ありません）
●指導料　月額52,800円～79,200円（税込）〈 週1回・各2時間の授業で月4回の場合 〉
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。　※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

◎体験授業で講師の指導力と相性をご確認下さい
■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。
■万一の場合には、別の講師による再度の体験授業を受けられます。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から　0120-14-3004
《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●携帯電話から　03-3440-1940
●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F